

1. 研究活動

【講義・シンポジウム】			
シンポジウム「地域を刺激するアート」	2015. 4. 28	岐阜県美術館	岐阜県美術館の新館長：日比野克彦さんと京都国際芸術祭のディレクター：河野信治さんらと討議。「地域資源を活用したアートプロジェクト」について発表。
クラブツーリズム講座「美術館の愉しみ」	2016. 3. 12	クラブツーリズム	美術を楽しむ旅行を題材に、美術館の歴史や近年の動向を初心者向きにレクチャー。
シンポジウム「パブリックアートの展開と可能性」	2016. 3. 19	武蔵野美術大学サテライト	東京新聞の後援で、地域美産研究会と屋外彫刻保存研究会の主催で開催。「芸術的価値」を主眼にレクチャーし、討議に加わった。
【原稿執筆】（依頼原稿：新聞）			
石黒鏘二「フューチャー・ピラーズ・パフォーマンス」	2015. 4. 15	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	名古屋市の電気文化会館前の公開空地にある作品。作家の代表作における都市への眼差しに言及。
レッド・グルームス「Showtime & Some Like It Hot」	2015. 5. 20	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	名古屋の今池交差点にあるボール状の作品。作家が得意とする大衆性への賛歌としての造形を解説。
安田侃「アルテピアッツァ美唄」	2015. 6. 17	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	北海道美唄市にある彫刻公園。故郷の地に築いた広場は、地域の再生にも一役買っている。自然への畏敬を讃える制作の普遍性に言及。
榎倉康二「壁」	2015. 7. 15	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	岐阜県美術館の前庭にひっそりと佇む作品。作家が若き日に海外デビューをした記念碑的の制作。再制作の意味にも言及。
久野利博「アンタイトル1988」	2015. 8. 19	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	名古屋市の若宮大通り高架下の作品。屋外彫刻の概念を超えた試みとして、作家のコンセプトを解説し、メンテナンスの問題にも言及。
北山善夫「私(あなた)」	2015. 9. 16	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	愛知芸術文化センターの吹き抜け空間の巨大作品。軽やかな素材と、人型のコンセプトを解説。
環境造形Q「スパイラル」	2015. 11. 18	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	碧南市民病院前のロータリー空間の作品。三人の彫刻家による造形集団が先駆的に日本の公共空間になした成果と病院前の意味性にも言及。
祐成政徳「GOLD FISH」	2015. 12. 16	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	竣工した名古屋駅の「JPタワー名古屋」の最新パブリック・アートを紹介。「親しみやすさ」への提議も込めて、昨今のコミッションワークの大衆性に言及。
「創造の旅へ」時空間を往還する美術	2015. 10. 23	中日新聞 夕刊文化欄	ちくさ正文館書店2階で開催中の「被爆樹に触れて」に関連した寄稿。戦後70年を記念した展覧会の動向にふれ、歴史の継ぎ目なく見渡す必要性を確認。さらに岡部昌生さんのフロタージュ作品が問いかける戦争の痕跡と今を紹介。

<b>【学内冊子「Ble」原稿執筆】</b>			
特集：平和へのスタンス	2015. 9	名古屋芸術大学アート & デザインセンター「Ble」43号	編集企画を担当（コンテンツ、筆者依頼など）。巻頭のジャン・ユンカーマン氏へのインタビューとまとめを執筆。
特集：みんなの図書館	2016. 3	名古屋芸術大学アート & デザインセンター「Ble」44号	編集企画を担当（コンテンツ、筆者依頼、巻頭の吉成信夫氏へのインタビューなど）
<b>【連載コラム原稿執筆】</b>			
名古屋シネマテーク通信 next arts 通信	2015. 4～2016. 3	名古屋シネマテーク通信	1998年より毎月連載。中部地域に限らず、内外の現代アートや文化トピックスを巡るミニコラム。
<b>【批評誌編集&amp;執筆】</b>			
特集「土のしごと」	2015. 5	「REAR（リア）」no. 34	〈特集〉記事構成と編集。「土のしごと」でのインタビュー再録記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
レビュー：北山善夫展「大声で笑い歌い、時には泣き」	2015. 5	「REAR（リア）」no. 34	「東近江市ゆかりの芸術家シリーズ Vol. 6」として開催された北山善夫さんの回顧展から、作家の絵画における影の欠落を確認、あらためて「絵画性」を検証する必要性を説いた。
特集「主題としての〈こども〉」	2015. 9	「REAR（リア）」no. 35	〈特集〉記事構成と編集。「主題としての〈こども〉」での対談再録記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
レビュー：没後10年 水谷勇夫展—宇宙から人間へ、人間から宇宙へ—	2015. 9	「REAR（リア）」no. 35	名古屋画廊での水谷勇夫さんの回顧展。修復を経て初出からはじめて公開された「神と獣」（1965年）を中心に、作家の戦争体験や独自の縄文への文化史観などを解説。
特集「戦争を視る」	2016. 1	「REAR（リア）」no. 36	〈特集〉記事構成と編集。「戦争を視る」での対談再録記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
八月十七日の浜田知明さん インタビュー：浜田知明	2016. 1	「REAR（リア）」no. 36	〈特集〉「戦争を視る」において、作家 浜田知明さんにインタビュー、戦争に関しての重要な発言を記録。
<b>【海外研修（引率）】</b>			
美術文化コース「海外美術研修（パリ）」	2015. 9	ルーブル美術館、オルセー美術館、バルサイユ宮殿ほか	5日間のパリ美術館見学は、20箇所を超える視察となり、多くの美術作品、建築空間を体験した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 博物館情報・メディア論	
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
近年、変化の目覚ましい博物館事情の具体例とその背景となる歴史やエポックを視覚的に紹介、解説している。	なるべく開催中の企画や、新しい動向事例を具体的に紹介。就職先として、博物館だけでなく関連企業への興味喚起も意図した。

### 3. 学会等および社会における主な活動

芸術批評誌「REAR」編集メンバー	2002. 10～現在	
名古屋市土木部堀川整備調整委員	2005. 4～現在	
かすがい文化振興財団評議委員	2008. 4～現在	
かすがい文化振興財団ギャラリー調整委員	2014. 4～現在	
豊田市美術館運営協議会委員	2008. 4～現在	
ファン・デ・ナゴヤ美術展企画委員	2009. 4～現在	
岐阜市屋外広告物審議会委員	2011. 4～現在	
岐阜県現代陶芸美術館広告物プロポーザル選考委員	2013. 6～現在	
岐阜県 新県展 企画委員	2015. 3～現在	
心揺さぶるアート事業 調査委員	2014. 8～2015. 3	
里山アート（昭和村）アドバイザー	2014. 4～2014. 12	
津市久居ホール設計業務及び 管理運営計画策定業務プロポーザル方式審査委員	2015. 9～現在	